

全国こどもチャレンジカップ[®]
第9回全国大会
実施報告書



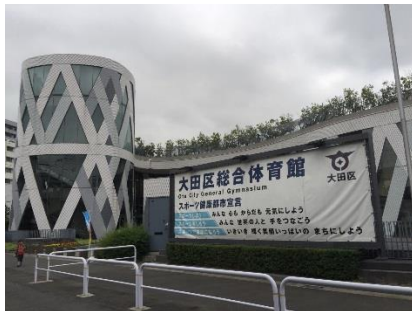
大会概要

大会名称	全国こどもチャレンジカップ 第9回全国大会
開催日時	2016年7月23日（土）11：00～17：45・24日（日）10：00～18：00
開催場所	大田区総合体育館（東京都大田区東蒲田一丁目11-1）
主 催	一般社団法人日本こどもフィットネス協会 全国こどもチャレンジカップ大会運営委員会
後 援	スポーツ庁/東京都教育委員会/公益財団法人大田区体育協会/大田区/ 公益財団法人健康・体力づくり事業財団/公益社団法人日本フィットネス協会/公益社団法人日本エアロビック連盟/株式会社JAPAN WELLNESS INNOVATION/特定非営利活動法人日本Gボール協会/ 「早寝早起き朝ごはん」全国協議会
協賛・協力	株式会社ギムニク/ベンゼナール株式会社AVIA&RYKA/チャコット株式会社/株式会社サンリオエンターテイメント/クリスチャンモロージャパン/株式会社東横イン/SPORTEC/有限会社MAKIスポーツ/NPO法人日本ウェーブストレッチ協会/カリフォルニア・レーズン協会/コカ・コーライーストジャパン株式会社/株式会社ブラボグループ/ジュノエスクベール/ 株式会社東急スポーツオアシス /月刊NEXT/有限会社フィットベル/株式会社アノマリー /月刊ジャパンフィットネス/株式会社スターワークス/株式会社フォトクワイート/株式会社中央軒煎餅/いまぱりタオル遊び開発普及委員会/株式会社オリム/NAC-JAPAN NPO/株式会社THINK フィットネス ゴールドジム/サンテプラス株式会社/株式会社おもちやの店青い鳥/株式会社MWM/東京リゾート&スポーツ専門学校/横浜リゾート&スポーツ専門学校/千葉リゾート&スポーツ専門学校/横浜こども専門学校/東京未来大学/特定非営利法人日本トイレ研究所/ 一般社団法人日本健康体操普及連盟/一般社団法人田園調布グリーンコミュニティ/Repoll planning （順不同 敬称略）
競技部門	【チャレンジサーキット（個人の部）】※年齢は全国大会当日の年齢 ①リトル部門2歳～小学1年生 ②ジュニア部門小学2年生～小学6年生 ③ユース部門中学生～高校生 ④笑顔&元気部門2歳以上 【チャレンジパフォーマンス（グループの部）】グループ構成：3名以上15名以内 ①エアロビクス≪1分15秒（±5秒）～45秒（±5秒）≫ ②ヒップホップ≪1分45秒以内≫ ③アクティビティ（フリースタイルのフィット&ダンス）≪1分45秒以内≫ ④スクールチャレンジ≪1分45秒以内≫ ⑤ファミリーチャレンジ≪1分45秒以内≫ 注意）④⑤はグループ構成・年齢・ジャンル制限無し。G P大会のみで実施。
出場資格	○2015年度に行われた各地区大会におけるチャレンジサーキット総合優勝者、 エアロビクス・ヒップホップ各部門入賞選手（1～7位）及びチャレンジパフォーマンス各部門入賞チーム（1～3位）≪※GP大会は1～5位≫ ○次点選手（地区大会で複数入賞選手が出た場合は、2つ目以降の大会の次点選手を繰り上げて選出） ○チャレンジサーキット“笑顔&元気”部門予選会予選通過者
出場条件	【チャレンジサーキット部門（個人の部）】・全国大会当日の年齢に該当する年齢区分で出場 【チャレンジパフォーマンス部門（グループの部）】・同じ選手が同じカテゴリーに複数の参加は不可 ・入賞カテゴリーは変更不可 ・チーム名の変更不可 ・入賞時のメンバーが最低1名以上の出場が必須。グループ構成人数は3名～15名 ・上記の条件を遵守した上で、メンバー変更及び選手の増減、エントリー曲の変更が可能 ・事故、怪我他、緊急な事態により選手がパフォーマンス部門に参加できない場合、事前に1チームにつき2名まで補欠選手名を登録する事が可能。（補欠選手は正式選手と同時にエントリー） ※GP大会入賞チーム（1～5位） 2015年度のチャレンジサーキット出場者が1名以上いること。 （注1）スクール部門に出場を希望するチームでチャレンジサーキット出場対象年齢外の選手のみで構成されたチームに限り 通常エントリー費に特別参加費として4,000円（税込）（サーキットエントリー費1名分相当）を追加する事で出場可能となります。 （注2）ファミリー部門において特別参加費は必要ありません。
エントリー費	チャレンジサーキット/チャレンジパフォーマンス1種目につき¥5,400（税込）/1名 2種以上の追加エントリー1種目につき¥4,320（税込）/1名 チャレンジパフォーマンス補欠選手1種目につき¥2,160（税込）/1名 “笑顔&元気”部門5,400円又は3,240円（税込）（注） ※チャレンジサーキット又はチャレンジパフォーマンスへ既にエントリーされており、2種目以降のエントリーとなる場合は3,240円

実施報告①

実施日時	2016年7月23日(土)開場 10:00 開演 11:00 終演 17:45
	7月24日(日)開場 9:15 開演 10:00 終演 18:00
大会参加選手数	チャレンジサーキット 503名 (リトル43名、ジュニア278名、ユース157名)
	笑顔&元気部門 25名
	チャレンジパフォーマンス 111チーム/594名
	ファミリーチャレンジ/3、スクールチャレンジ/8、エアロビクス/18、ヒップホップ/46、アクティビティ/36
	合 計 1,097名
来場者数	1日目 1,724名
	2日目 1,907名
	合 計 3,631名

会場:大田区総合体育館 外観



会場:大田区総合体育館 メインアリーナ



入場風景



開場前



当日配布したアッセンブリ



選手受付での配布物



写真提供 (一部除く) : オールスポーツコミュニティ <http://allsports.jp/>

実施報告②

開会式



大会会長・代表理事 ご挨拶



大田区長 ご挨拶



審査員・リード 7月23日



審査員・リード 7月24日



ゲストダンサー : Beat Buddy Boi (24日:ゲストパフォーマンス)



選手宣誓 7月23日



選手宣誓 7月24日



トロフィー・表彰盾・メダル・副賞



23日チャレンジサーキット

エアロビクス



ヒップホップ



アクティビティ※握力向上プログラム



※チャレンジサーキット・アクティビティルーティンでは握力向上プログラムの第4期として握力の測定を行っています。
研究については引き続き筑波大学体育系体操コーチング論研究室教授の長谷川聖修先生にご協力いただいております。

実施報告③

チャレンジサーキット 総合優勝



大門 茜（東京都）

チャレンジサーキット エアロビクス



リトル1位
藤原 紬妃（愛知県）



ジュニア1位
高柳 光希（愛知県）



ユース1位
中村 友紀（東京都）

チャレンジサーキット ヒップホップ



リトル1位
加藤 さくら（岐阜県）



ジュニア1位
藤野 雅久（長野県）



ユース1位
野村 亜実（大阪府）

実施報告④

笑顔&元気部門



リトル 1位
北村 日向子 (東京都)



ジュニア 1位
武田 すず (神奈川県)



ユース 1位
田中 咲帆 (神奈川県)

24日チャレンジパフォーマンス



エアロビクス 1位
グリーンHOP SA (東京都)



ヒップホップ 1位
INFINIT (鹿児島県)



アクティビティ 1位
ミラクル チアーズ (愛知県)



ファミリーチャレンジ 1位 バモス・ファミリー (東京都)



スクールチャレンジ 1位 立命館大学 sTraal (京都府)

実施報告⑤



審査員特別賞
SKC★Twinkle Stars
(茨城県)



キッドビクス賞
MIYUKids Rainbow☆Soda
(京都府)

表彰式



総評



集合写真 7月23日



集合写真 7月24日



実施報告⑥

企業出展



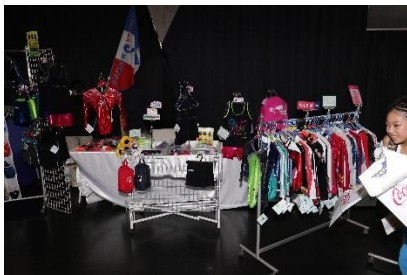
カリフォルニア・レーズン協会



インポートセレクトショッププレディス
アパレル OTTO LAGO



ベンゼナール株式会社
AVIA & RYKA



クリスチャンモロー・ジャパン



ジュノエスクバエグル



チャコット株式会社



大田区観光課



株式会社フォトクリエイト



株式会社東横イン



日本こどもフィットネス協会